

一般  
会計

公共施設整備  
基金元金の積立  
などに

1450万円を追加補正

総額75億2730万円となる

補正の主なもの

- 一般会計補正予算の主なものは、  
公共施設整備基金元金の積立
- 障害福祉サービス費
- 高齢者世帯雪下ろし費支給事業
- 保育園費（運営委託料）
- 浅立地区経営体育成基盤整備事業負担金
- 堆肥等有機性資源利用促進事業補助金

5000万円	1015万円	40万円	1162万円	900万円	▲125万円
--------	--------	------	--------	-------	--------

● 財源は町税、繰越金などで対応します。

質  
疑

■公共施設整備基金  
積立に5000万円

**議員** 公共施設整備基金が1億1396万円程あります。いろいろな基金があるなかで、なぜ今5000万円を積み立てるのですか。  
**当局** 東日本大震災を経験したなかで、町の公共施設などの維持や修繕、改修の時期をふまえ、行政としての目的を明示し積み立てるものです。

**議員** 公共施設整備基金は特定の支出目的があるのではないですか。町民の皆さんにわかるように、ていねいな説明が必要ではないですか。  
**当局** 公共施設とは、学校・保育園・公民館や道路・橋などで、役場庁舎は『公用施設』になりますので、支出目的には含みません。厳しい財政のなかで積み立てることは、町民に対して具体的にきちんとした説明が必要と考えています。

平成23年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		1450万円	75億2730万円
特別会計	下水道	537万円	5億4358万円
	農業集落排水	160万円	1億5325万円
企業会計	訪問看護	△3万円	3267万円
	資本的支出	221万円	371万円
水道	収益的支出	△4万円	2億9696万円



築48年の白鷹町役場

\* 万円未満は端数を整理しています。

表彰

おめでとうございます



総務大臣感謝状  
(議員在職35年以上)  
五十嵐政司 前議員

条例

新しくなること

「体育指導委員」は「スポーツ推進委員」に変更となりました。  
スポーツ基本法の施行により「体育指導委員」は「スポーツ推進委員」へ名称が変更となりました。  
スポーツ推進委員とはスポーツ基本法に基づき、教育委員会から委嘱された非常勤職で、スポーツの実技指導とスポーツに関する指導・助言を行うとともに町民と行政を結ぶスポーツコーディネーターとしての役割を担っています。現在スポーツ推進委員は18名で町の地域スポーツ推進を目的にさまざまな活動を行っています。